

経営支援ニュースレター

※※御社の経営に役立つ情報を、毎月わかりやすくまとめてお伝えします※※

Tokyo
Metropolitan
Consulting
Group

<今月の主な内容>

- とにかく始めること。継続していく秘訣とは？
- 失敗して恥を受け入れよう「赤っ恥学」紹介
- たった5分で自分を変える方法
- お金が貯まる小さな習慣
- 付録：「会社法の改正動向」カンタン解説

東京メトロポリタン税理士法人
TMコンサルティング(株)／(株)クイック經理
代表／税理士 北岡 修一

行動しよう！チャレンジしよう！失敗は受け入れよう！

皆様、こんにちは。お元気様です。

この土日は天気が悪くて、ずい分涼しい感じですが、朝晩などちょっと寒い位ですね。

先月は、誕生日前でバイオリズムが落ちているみたいなことを書きましたが、今月はもうバッチリです。やる気満々です。

それでは、今月も張り切っていきましょう！

■とにかく始めることです。

昨年11月から無料メルマガ「実践！社長の財務」(<http://www.tm-tax.com/>)というものを、毎週出しています。毎週なのであつという間に47号になってしまいました。このニュースレターは3年近くやっていますが、月1回なので34号。あつという間にメルマガに追い抜かれてしまいましたね。まあ、2つとも自分でやっているわけですが、追い抜くときは「まだ、1年も経っていないのに追い抜いちゃうんだあ...」などと、感慨深いものがありました。計算すればすぐわかることですが...

よく、皆さんに「毎週・毎月続けるの大変だよな。」と言われる。本当、自分でもそう思うときもありますが、それほど苦でもないんですね。むしろやめる、すっ飛ばす方がつらい。それは、皆様が読んでくれているから。お客様であったり、将来のお客様であったり、支援者であったり。そういう方の目がありますから、信頼関係が

ありますから、結構それはそれで緊張感があります。いい意味で。だから続けられるのですね。

ひるがえって、他のことを考えてみると、意外と始めたはいいけど、続けられないことも多いんですよ。たとえば、社内の研修や、やると言っていた毎月の面談、年初に掲げた今年やるべき事...等々

社員やスタッフには悪いのですが、きっと社内では緊張感がなかった、やらなくても誰からも怒られない、そんな甘えがあったと思います。自分の中だけの約束についても、つい甘くなってしまいます。それではいけないと、9月から再度できることだけを掲げて、やろうと、ミーティングで話しています。

とは言っても、始めるコツは、あまり考えすぎないでやることですね。失敗してもいいと思ってチャレンジすることです(新規事業などを始めるときは、第26号で稲盛さんのことを書いたように、考えに考え抜く必要があると思いますが)。また、社外に表明してやっていくというのでもいいと思います。このニュースレターのように。

外部の力(見えない力)を借りながら、自分のパワーに変換し、ものごとを継続していく、そうすると自然に自分の中に大きな資産が蓄積されていく、ニュースレターやメルマガをやって、そんなことを一番感じています。

先月号でも、第2顧問(セカンドオピニオン)やGive & Take紹介制度を皆様に表明しました。これは、結構反響がありましたね。顧問を正式に申し込みいただい

た方もいますし、問合せや感想をいただいた方も数人います。恐る恐るですが、思い切ってやってみたから、反応いただけたんですね。まずは、思ったことはやってみないと、どうなるかわかりません。自分ではだめだろうと思っていたことも、結構受け入れられたりします。

そこで、今回は、皆様の行動を後押しする本を紹介します。

■失敗して、恥を受け入れろ！

とにかく行動すること。チャレンジしよう。失敗してもいいじゃないか。と、熱く語ってくれる本があります。

知る人ぞ知るあの関口房朗氏の本です。メイテックという会社を上場させた方ですが、社内クーデターで会社を追われ、また、(株)ベンチャーセーフネットを創業し、再度上場させるところまでできました。ディスコで入社式をやったり、愛馬で日米ダービーを制したり、今年は何とあのボブ・サップと自身が対戦するK1イベントを入社式に持ち込むなど、話題には事欠きません。現在は、六本木ヒルズをメゾネットにして住んでいるそうです。

とにかく、ド派手で目立つ人です。

その関口氏を書いたのが次の本。



「赤っ恥学」

著者：関口 房朗

出版社：宝島社

定価：1,300 円＋税

初版：2004 年 7 月 12 日

題名からしてすごいのですが、サブタイトルも「目立って！ 転べ！ 笑われろ！ -大富豪への黄金ルール」 「恥をかくほど成功する日給84億円のシゴト哲学」・・・何ともスゴイ言葉の羅列。表紙をあけると、また派手な写真がズラリ・・・ ちょっと一瞬引いてしまうような、人によってはかなり好き嫌いがあるかも知れませんが、書いてあることは、私はとても共感できます。

失敗だけが人を成長させる。失敗は回り道ではなく、むしろ近道。ここで間違えてはいけないことは、**失敗しないこと＝成功すること、ではない**、ということです。確かに皆、失敗することを恐れて慎重にことを進める、あるいはその道を避けようとするが、失敗しなかったからといって、それが成功とは限らない。だったら、失敗してもいいからチャレンジして、経験という宝を手に入れた方がよい、たくさんの学びを得た方がよい、ということです。あるいは、失敗に対する免疫をつけた方がよいということです。大抵のことは、失敗しても大した痛手ではないでしょう。ひざを擦りむく程度です。失敗を恐れる本当の原因は、実は別なところにあるというのが、氏の考えです。

それは、失敗した「みっともない自分」を見られたくない、という**「恥への恐怖」**が裏に隠されているのではないか、ということです。バカにされたくない。笑われたくない。非難されたくない。無能な人間だと思われたくない・・・等々。

こういった**「恥への恐怖」**が、失敗したくない＝チャレンジしないことの、根本的な原因になっている、ということです。日本には特に「恥の文化」という背景があるので、その傾向が強い。もしかして、会社創業の割合が他国に比べて低いのも、その辺に起因しているのかも知れませんね。

これに対処するには、恥を捨てるのではなく、**「恥を進んで受け入れる」**ことであると言う。その上で、失敗を失敗と思わず、**「どこか一部間違っていただけ」**と考えればいいわけです。そうすれば、その間違っていた部分を直して再チャレンジすれば、次は成功するかも知れません。恥を恐れるために、行動しないなんて、考えてみたらバカらしいですね。失敗したところで、回りは大してこちらのことなど、気にしていないものです。私の場合、このニュースレターをやること自体が恥ずかしかった位ですから・・・今でも(笑)

まあ、この本読んでいると、失敗してもいいんだったら、何でもやってみようか、という気になってきます。

是非、何かしようかどうか思い悩んでいる方、この本を読んでみることを、お奨めします。

■ 5分で自分を変える方法

ということで、今回は、何かを始めよう、チャレンジしよう、というようなテーマで書いています。そんな中で、非常に軽くてすぐ読めてしまう本を見つけました。主婦でありライターである方が書いた本ですが、自分を変えるための、日常の簡単なヒントが書いてあります。2時間もあれば読めてしまうので、気晴らしに読んでみてはいかがでしょうか。



「キツパリ！」

著者：上大岡 トメ

出版社：幻冬舎

定価：1,200 円＋税

初版：2004 年 7 月 30 日

「5分で自分を変えられる方法」が60項目書いてあるのですが、その中から私が気に入ったいくつか紹介。

<身の回りの整理>

- 処分したい新聞や雑誌は、中身を見ずに捨てる。
見てしまうと、時間がかかっちゃうんですね...
- 水の流れる場所をきれいにする。
洗面とかトイレとか(=お金持ちの秘訣：後述)

<頭の中を変える>

- 忙しい時は、やらなきゃいけないことを全て書き出す。→書き出すだけで、まず安心。直感が出てくる
- メモ帳を持ち歩く。→ ヒラメキを忘れないように、思いついたらすぐ書く。手の平サイズも1つ用意。
- 急いでいるときこそ、字をていねいに書く。
実は時間はあまり変わらない。落ち着く。
- 迷ったときは、勇気がいる方を選ぶ。
勇気のいることをやると、ものが進む。
- 疲れたと思ったら、とにかく眠る。

<気持ちから変える>

- 難しい仕事は、カンタンな仕事を1つ終えてから、すぐ取りかかる。→まずは勢いをつけて！
- 「もう遅い」「今さら」「どうせ」は、禁句にする。
自分の今の環境を言い訳にしない。
- ラッキーなことを数える。
私は、書き出したりしています。

<カラダから、外見から変える>

- 姿勢を良くする。
背中を意識すると、姿勢が良くなります。
- キレイな水を1日2リットル飲む。
これはいいですよ。体調バッチリ。
- 仕事の合間に伸びをする。
そして、腹式呼吸で深呼吸をする。

<コミュニケーションを変える>

- いいところを見つけてほめる。
素直に思ったことを言えばいい
- 聞き上手になる。
意外と聞いていないものです...
- 気乗りしないお誘いは、その場で断る。
あいまいにしておくと、お互いに良くない。
- メールは、短く、早く。
メールの返信が遅いと、気になりますね。
- 約束の5分前に行く。
ついギリギリまで仕事してしまう。反省...

ということでしょうか。まだまだ、面白いことがいろいろ書いてありますが、あまり書きすぎちゃうと良くないので、この位にしておきます。

■ お金が貯まる小さな習慣

同じように、もう1つ、今度は有料メルマガ「日本一の大金持ちの教え」(発行者：大空ゆうき：まぐまぐプレミアム)から、「お金が貯まる小さな習慣」が25か条紹介されています。その中から、これも私が気に入ったもの

をいくつか、コメントつけて紹介します。

是非皆様、チャレンジ・行動しつつ、この習慣を身につけて、お金を貯めてくださいね！（笑）

- 財布には紙幣をそろえて入れる。
これはいろいろな方が言っています。
- 自分よりお金持ちの人に財布を買ってもらおう。
李朝風水師の李家幽竹さんの「とっておきの金運を高めるコツ」なのだそうです。
- 収支を1円単位まで管理する。
ロックフェラー一家のお金教育の1つだそうです。
個人のお金まではなかなか...
- お金はできるだけ新札で持っていた方が良い。
良しにつけ、悪しきにつけ、お札を持っていた人の念や思いが入ってしまうのだそうです。
- お財布にはお金以外のものは入れないようにする
お金はゴチャゴチャしたところを嫌う。お金とカード程度にして、レシートなどはなるべく入れない。
- 長持ちするものを買う。
高くても長持ちするものを買った方が、結局は得
- 受け取ったレシートは、その場で確認する。
レジのミスは結構多い。
- 節約したお金は「貯金」する。
個人でも会社でも。毎月の定額支出がなくなったら、その分は定期積み立てをする。
- 宝くじは買わない。
宝くじに当たる確率よりも、稲妻に当たる確率の方が高い！東京駅から吉祥寺駅までマッチ棒を並べたときに、その内の一本が宝くじに当たる確率！
- トイレ掃除をする。
トイレをきれいにし、ふたを閉めると、お金回りが良くなる。齋藤一人氏も小林正観氏も言ってます。
- 残ったお金を貯金するのではなく、貯金した残りのお金を使う。
これはとっておきの秘訣だと思います。とても大事です。個人はもちろん、会社でもやって欲しいと

思います。先ほどのロックフェラー一家では、収入の10%をまず、貯金しなさい。という教えだそうです。

- レンタルできるものは、レンタルする。
むやみやたらにもものは買わない、ということです。
- 借金はしない。
借金からは借金の波動が出て、呼び寄せるそうです。大きな買い物で借金をする場合は、できるだけ頭金を多くするようにしましょう。
- ウォーレン・バフェット氏の投資に関するルール
 - ①決してお金を失わないこと
 - ②決してルール①を忘れないこと。

■編集後記

今回はいろいろ紹介ものが多かったのですが、是非、皆さんご参考にしていただければ幸いです。今回は恐れることなく、まずは、チャレンジしよう、行動しようということがテーマでした。私の方は、9月はセミナー・講演三昧でした。何と7回もやりました。こんなにやったことは初めてですが、これからもチャレンジしていきます。また、株式会社クイック経理では、10/5位を目処にHPを更新します。下記HP是非ご覧ください。さらに、もう1誌メルマガあるいはブログをやろうと思っています。その他、ビジネスに直結するような交流会なども検討しています。また、いろいろと御案内いたします。

最後までお読みいただき、ありがとうございます。

●ご意見、ご感想、ご質問は、下記まで。

東京メトロポリタン税理士法人 <http://www.tm-tax.com>

株式会社クイック経理 <http://www.quick-a.co.jp>

発行人：代表/税理士 北岡修一 kitaoka@tmcg.co.jp

〒163-1304 新宿アイランドタワー4F 私書箱1653

TEL:03-3345-8991 FAX:03-3345-8992

●無料メルマガ「実践！社長の財務－財務アプローチで強い会社・儲かる会社を作る」のご購読は、上記一番上のHPからどうぞ！！